



CHAPTER 13

バックアップと復元

ハードウェア障害が発生した場合に重要なデータが失われないように、Cisco NAC ゲスト サーバを定期的にバックアップする必要があります。Cisco NAC ゲスト サーバのバックアッププロセスでは、システムセットアップ、アカウントデータベース、およびすべての監査レコードがバックアップされ、障害の発生時に必要なすべての項目を回復することができます。「ポイントインタイム」スナップショットを作成することも、自動的に Cisco NAC ゲスト サーバまたはリモートの FTP サーバに保存されるようにシステムのバックアップをスケジュールすることもできます。

この章の内容は、次のとおりです。

- [バックアップの設定](#)
- [バックアップの復元](#)

バックアップの設定

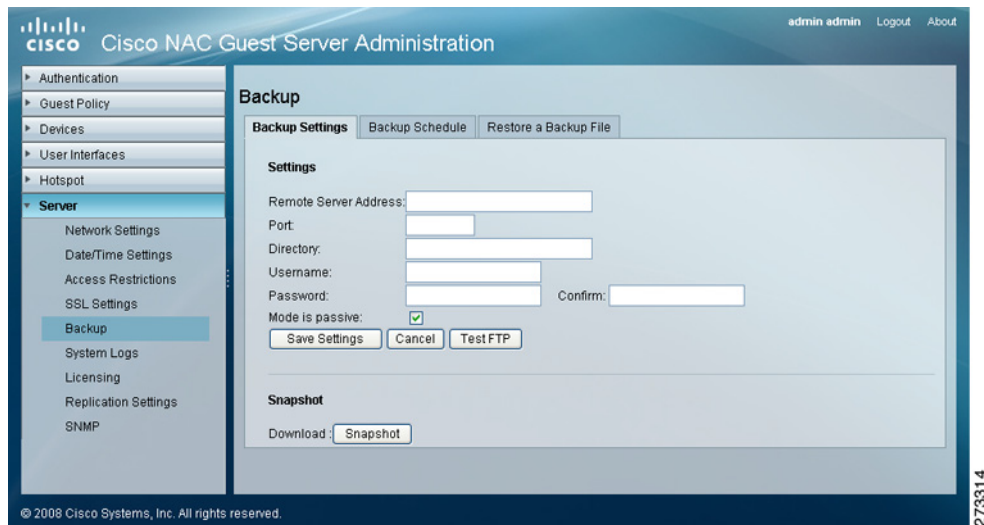
ここでは、次の内容について説明します。

- [バックアップ設定の保存](#)
- [スナップショットの作成](#)
- [バックアップのスケジュール](#)

バックアップ設定の保存

ステップ 1 管理ホームページから、[Server] > [Backup] を選択します（図 13-1 を参照）。

図 13-1 バックアップ設定



ステップ 2 リモートの FTP サーバへのバックアップを実行するには、[Backup Settings] タブをクリックします。

- [Remote Server Address] に、FTP サーバのアドレスを入力します。
- [Port] に、使用される TCP ポートを入力します（通常はポート 21）。
- [Directory] に、バックアップを格納するディレクトリを入力します。
- [Username] と [Password] に、FTP サーバにアクセス可能なユーザ名とパスワードを入力します（パスワードの確認も行います）。
- [Mode is Passive] チェックボックスをオンにすると、FTP モードが「パッシブ」になります。チェックを付けないままにすると、非アクティブになります。

ステップ 3 [Save] ボタンをクリックしてバックアップ設定を保存します。



(注)

バックアップをローカルの Cisco NAC ゲスト サーバにだけ格納する場合は、バックアップは /guest/backups ディレクトリに格納されます。このディレクトリは SFTP を使用してリモートの場所にバックアップし、root ユーザ名とそのパスワードでログインすることを推奨します。これにより、アプライアンスのディスクにハードウェア障害が発生した場合でも外部にコピーが保持されます。

スナップショットの作成

Cisco NAC ゲスト サーバの特定の時点のバックアップをダウンロードできるように、ポイントインタイム スナップショットを保存することができます。

- ステップ 1** 管理ホームページから、[Server] > [Backup] を選択し、[Backup Settings] タブ (図 13-1 を参照) を選択します。
- ステップ 2** スナップショット バックアップを保存するには、フォーム下部の [Snapshot] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** バックアップ ファイルをディスクに保存するように促すプロンプトが Web ブラウザで表示されます。

バックアップのスケジュール

バックアップを毎日、毎週、または毎月、午前 1 時に実行するようにスケジュールすることができます。スケジュールされたバックアップは、Cisco NAC ゲスト サーバの /guest/backup ディレクトリまたはリモートの FTP サーバのどちらかに格納されます。

- ステップ 1** 管理ホームページから、[Server] > [Backup] を選択し、[Backup Schedule] タブ (図 13-2 を参照) を選択します。

図 13-2 バックアップ スケジュール

- ステップ 2** ローカル バックアップを実行するには、以下を行います。
 - [Maximum number of backups] に、保存するバックアップの最大数を入力します。Cisco NAC ゲスト サーバで、古いバックアップの数がこの最大数を超えた場合、新しいものが作成されるたびに最も古いものが削除されます。



(注) ファイルの数を制限しない場合は、1 未満の数 (0 や -1 など) を指定できます。

- [Frequency] ドロップダウンメニューで、Cisco NAC ゲスト サーバでのバックアップの実行頻度を指定します。[Daily]、[Weekly] または [Monthly] を指定できます。[Weekly] を選択した場合は曜日も指定する必要があります。[Monthly] を選択した場合は日にちを指定する必要があります。



(注) システムが毎月必ず自動的にバックアップされるようにするには、日にちは 1 ~ 28 の範囲で指定することを推奨します。

ステップ 3 [Save] ボタンをクリックして設定を保存します。

バックアップの復元

管理インターフェイスから Cisco NAC ゲスト サーバにバックアップを復元することができます。



(注) バックアップは、バックアップの実行時に使用したバージョンと同じバージョンの Cisco NAC ゲストサーバソフトウェアだけに復元できます。バックアップの実行に使用したバージョンを確認する必要がある場合は、バックアップアーカイブファイルのディレクトリを開き、バックアップアーカイブの **version.html** ファイルを確認してください。



警告

相互にバックアップする 2 つの Cisco NAC ゲスト サーバを実行している場合にバックアップを復元するときは、両方のサーバでレプリケーションをオフにし、バックアップをいずれかのサーバだけに復元する必要があります。もう一方のサーバについては、その後で再同期する必要があります。この手順に従わないと、一方のサーバのデータが失われる可能性があります。詳細については、[第 14 章「レプリケーションとハイアベイラビリティ」](#)を参照してください。

ステップ 1 管理ホームページから、[Server] > [Backup] を選択し、[Restore a Backup File] タブ (図 13-3 を参照) をクリックします。

図 13-3 バックアップの復元

ステップ 2 [Browse] ボタンをクリックし、復元するバックアップアーカイブを選択します。

ステップ 3 [Restore] ボタンをクリックします。

ステップ 4 バックアップが Cisco NAC ゲスト サーバにアップロードされ、データが復元されます。データが復元されると、データベースを正しくロードするためにサーバが再起動されます。
